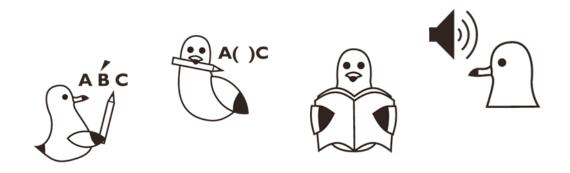
高等学校英語教員のための

定期テスト作成 簡易マニュアル



神奈川県立国際言語文化アカデミア

目 次

作成の趣旨		1
作成の手順		1
使い方		1
内容の説明		
「テスト作成と評価のためのマトリックス」について		2
「定期テストサンプル(全体像)」について		
「定期テスト問題例と解説」について		2
謝辞		3
テスト作成と評価のためのマトリックス		4
定期テストサンプル (全体像)		6
定期テスト問題例と解説		
1. ディクテーション	<聞くこと>	13
2. 適切な応答の選択	<聞くこと>	14
3. 内容にかかわるQ&A	<聞くこと>	15
4. 単語のアクセントに関する知識	<語彙>	17
5. 初見の英文を使った単語の空所補充(記述)	<語彙>	18
6. 教科書英文の特定の語の同意語選択	<語彙>	19
7. 英文中の空所補充	<文法>	20
8. 同意文の空所補充	<文法>	21
9. 語順整序	<文法>	22
10. 論理展開に合わない英文や語(句)の特定 * 教科書テキスト を利用した読解問題①	<読むこと>	23
11. ディスコースマーカーや論理展開にかかわるその他の語(句) の空所補充 *教科書テキストを利用した読解問題②	<読むこと>	24
12. 内容にかかわる $Q\&A$ *教科書テキストを書き直した文章 や関連した文章を使った読解問題	<読むこと>	25
13. 1 文英作文 *言語の働きを重視した英作文	<書くこと>	27
14. 複数文自由英作文 *授業中または家庭学習で書かせたものを再生させる場合	<書くこと>	28
15. 1パラグラフ自由英作文 *初見の短い英文を読んで意見を書く	<書くこと>	29
解答用紙サンプル		30
参考文献		32

作成の趣旨

この「テスト作成と評価のための簡易マニュアル」は、高等学校で英語の指導に携わっておられる先生方の指導・評価・目標設定の一助となることを目的に作成しました。平成 26 年 10 月から 11 月にかけ、これまでアカデミアの研修に参加された先生方の協力を得て、県内高等学校における定期テストの現状調査を行った結果、英語教育のより一層の充実には、英語科内で定期テストの内容や作問について十分な共通理解を持つことが不可欠であることが再認識されました。そこでこの度、今後の校内研修等でご活用いただくためのささやかな資料として、この簡易マニュアルを作成しました。まだ作成途上(work in progress)ですので、ご遠慮なくご意見・ご質問をお寄せいただき、各学校における研究協議のたたき台としてご活用いただければ幸いです。

作成の手順

作成にあたっては、次の手順を踏みました。本来は、テスト結果の分析方法、分析結果についての生 徒へのフィードバックのしかた等にも触れるべきところですが、今回は割愛しています。

- 1 『学習指導要領解説』,『評価規準の作成,評価方法等の工夫改善のための参考資料(高等学校外国語)』等を参考にしながら,<u>コミュニケーション英語Iの授業で生徒たちに身につけさせたい英語力の中味</u>を,4観点,4技能の下位能力,言語知識,態度に分けて整理した。
- 2 1で分類,整理した下位能力,言語知識,態度に関し,<u>授業で指導した内容を評価する具体的・現</u> <u>実的な方法</u>を,定期テスト,パフォーマンステスト,授業中の3つの場面を想定しながら具体例を 整理した。
- 3 1, 2をマトリックス形式で一覧表にまとめた。
- 4 定期テストで評価(測定)することが可能な下位能力,言語知識について,教科書の2~3レッス ンが試験範囲であると想定した<u>定期テスト問題例</u>を作成した。(各問題の設問については数例ずつ 提示するに留めている)
- 5 $1 \sim 4$ においては、学年および3年間を通して「生徒に何ができるようにさせたいか」(「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標)を想定しながら作業を進めた。

使い方

「作成の手順」「テスト作成と評価のためのマトリックス」「定期テスト問題例と解説」を批判的にご 覧いただき、英語科内での話し合いの参考資料として、各学校における到達目標、指導方針、生徒の学 習段階に応じた、より適切な評価・テスト方法開発の一助としてください。

内容の説明

○「テスト作成と評価のためのマトリックス」(pp. 4-5) について

①「観点」

観点別評価の「外国語理解の能力」「外国語表現の能力」「言語や文化についての知識理解」「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の4つの観点で、以降の項目を大きくまとめています。

②「技能・知識」

3つの観点について、「聞くこと」「読むこと」(「外国語理解の能力」)、「話すこと」「書くこと」 (「外国語表現の能力」)の4技能と、「語彙」「文法」(「言語や文化についての知識・理解」)の言 語知識に分類しています。

※4技能 (= 「外国語理解の能力」+「外国語表現の能力」) の欄については、各学校で作成・ 運用することになっている「『CAN-DO リスト』の形での学習到達目標」に反映されます。

③「育成すべき下位能力・知識・態度」

授業を通じて伸ばすべき 4 技能のより具体的な能力や、そのために必要となる語彙・文法などの言語知識、学習の前提となるそれぞれの技能に対する態度を挙げてあります。定期テスト作成にあたっては、これらの下位能力、下位知識が身についているかを調べるためには、それぞれの下位能力、下位知識ごとに大問を設定する必要があり、異なるものを混在させた問題(総合問題)は避けるべきでしょう。

④「問題の種類・評価の対象」

それぞれの下位能力・言語知識・態度について、定期テストでどのような問題を使って測ることができるか、それ以外のどのような方法で成果を見取ることができるかを、例として挙げてみました。これらはテスト問題・評価対象であると同時に「授業でどのような指導・活動をすべきか」ということも示しています。

○「定期テストサンプル (全体像)」(pp.6-12) について

あとに続く「定期テスト問題例と解説」で扱っている問題例から選んだものを、観点別のバランスを考慮しながら、100点満点の1つのテストの形にしたものです。配点とともに、技能・知識の全体的なバランスを俯瞰図で示し、さらにクローズアップして詳しい参照ページ(「定期テスト問題例と解説」)を付したものを載せてあります。

○「定期テスト問題例と解説」(pp.13-29) について

定期テストでの出題可能性の高い「聞くこと」「語彙」「文法」「読むこと」「書くこと」にかかわる テスト問題のサンプルを載せてあります。それぞれに、観点、技能・知識の別と各々の下位能力・下 位知識、そのテストの前提となる指導の具体例、問題例および解答等、作成・評価における留意点を 記しています。あくまでも「例」なので、内容や難易度だけでなく、問題形式、回答方式等について も、各校の実情に応じた工夫が必要になります。

謝辞

このマニュアル作成に際し、東京外国語大学大学院教授・根岸雅史先生より、多大なるご指導・ご助言をいただきました。ここに深く感謝の意を表します。

テスト作成と評価のためのマトリックス

観点	技能知識	育成すべき下位能 力・知識・態度	問題の種類・評価の対象	
		発音を	類似した発音を持つ語の聞き分け	-
		聞き分ける力	時間や数などの聞き取り	
	聞く		ディクテーション	p.13
	聞くこと	話された内容を	内容にかかわる Q&A (多肢選択/記述)	p.14,15
		的確に聞き取る力	内容を示す絵の選択	
			表の完成	
Ы		まとまった英文の	タイトルの選択	
国		概要・要旨を	書かれた目的や意図(多肢選択/記述)	
外国語理解		読み取る力	筆者の主張や意見(多肢選択/記述)	
解の		まとまった英文の	内容にかかわる Q&A (多肢選択/記述)	p.25
の能力	⇒±÷	重要な情報を	内容一致文の選択	
	読むこと	読み取る力	表の完成	
	ے ک		パラグラフ整序	
		論理展開や	ディスコースマーカーや論理展開にかかわるその他の語(句)の空所補充	p.24
		出来事の順序を	論理展開に合わない英文や語(句)の特定	p.23
		読み取る力	論理展開に合う英文の挿入	
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	フローチャート(グラフィックオーガナイザー)の完成	
			指示語の内容	
		意味のまとまりを		
		意識しながら正確		
		な発音で話す力		
	話	その場に合った適		
	すこと	切な表現を活用し	(スピーキングテスト)	
外国	と	て話す力		
語書		聞き手の理解度を		
表現		意識しながら		
外国語表現の能力		話す力		
为		目的に合った適切	1 文自由英作文	p.27
	-	な表現を活用して	複数文自由英作文(2~3文)	p.28
	書く	英文を書く力	1パラグラフ自由英作文	
	書くこと	論理展開が明確な	短いパラグラフ中の英文補充	
		英文を書く力	複数文自由英作文(2~3 文)	
		/\/\C = \//	1パラグラフ自由英作文	p.29

観点	技能 知識	育成すべき下位能 力・知識・態度	問題の種類・評価の対象	例		
		発音・アクセント	異なる発音(母音・子音)を含む単語の特定			
	語	に関する知識	異なる音節に第一アクセント(強勢)のある単語の特定	p.17		
	_		初見の英文を使った単語の空所補充 (記述/多肢選択)(※注)	p.18		
	彙	形式・意味・用法に関する知識	初見の英文を使ったコロケーションの空所補充(記述/多肢選択)(※注)			
言語			教科書英文の特定の語の同意語選択 (多肢選択)	p.19		
言語や文化に		文強勢・	対話文における文強勢のある語の特定			
2		イントネーション に関する知識	意味に応じた適切なイントネーションの選択			
いての知		動詞の活用,	英文中の空所補充 (記述/多肢選択)	p.20		
	文法	文具	文 文	準動詞,時制等に 関する知識	英文中の空所補充 (原形からの変形)	
理				法	法	文構造に関する
解		知識	語順整序	p.22		
		八日山町	英文の書き換え (※能動態⇔受動態など、不自然な書き換えは除く)			
		適切な文法項目を	文中の誤りの特定と訂正			
		選別するための 知識	対話文における (語法・語用論上の) 言い間違いの訂正 (repair/recast)			
	コミ	リスニング活動に おける関・意・態	リスニング課題(指定課題の完成/任意の追加課題への取組)			
関心・意欲・態度	ミュニケ	リーディング活動 における関・意・態	リーディング課題(指定課題の完成/任意の追加課題への取組)			
常欲	ケーシ	スピーキング活動	スピーキングテスト(既習表現・コミュニケーション方略の積極的活用)			
態	ョン	における関・意・態	授業中のスピーキング活動 (活動への取組状況)			
	~ О	ライティング活動	定期テスト(指定課題の完成)			
0)		における関・意・態	授業中のライティング活動(指定課題の完成/任意の追加課題への取組)			

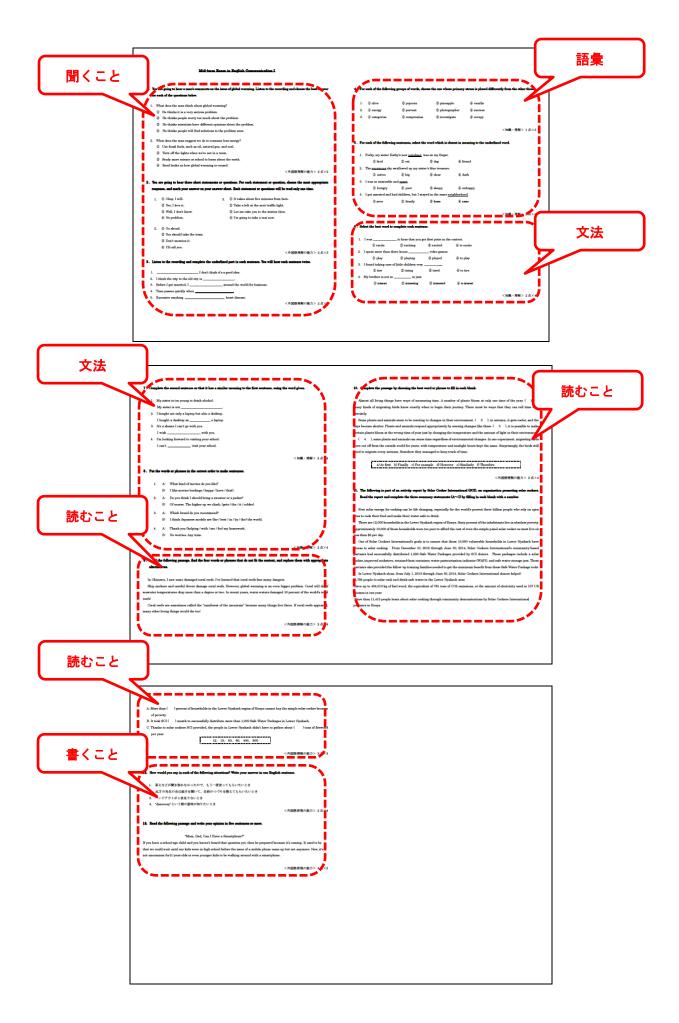
(※注): 記述問題では、スペリングまで覚えさせて将来自己表現に使わせたい語(発表語彙)を扱い、意味理解にとどめてもよいと判断できる語(受容語彙)については、選択問題で出題する。テスト後に記憶に残らないような丸暗記のみの学習を避けたい場合は、予告したうえで初見の英文を用いることが有効である。

定期テストサンプル (全体像)

サンプル問題の配点

評価の観点	問題の内容	配点	小計
外国語表現の能力	1 文英作文	$2 \times 4 = 8$	20
(書くこと)	課題英作文	$4 \times 3 = 12$	20
Al Estate and first - Ale I	内容に関する Q&A(選択)	$2 \times 3 = 6$	
外国語理解の能力 (聞くこと)	会話文での応答(選択)	$2 \times 2 = 4$	20
(14) (C C)	部分ディクテーション	2×5=10	
Al Estate and first - Ale I	論理に合わない語の指摘	$2 \times 4 = 8$	
外国語理解の能力 (読むこと)	ディスコースマーカー(選択)	$2 \times 4 = 8$	25
(1)	英文の情報検索 (選択)	$3 \times 3 = 9$	
	アクセント: 語彙(選択)	$1 \times 3 = 3$	
言語や文化について	同意語:語彙(選択)	$2 \times 4 = 8$	
の知識・理解	語形変化:文法(選択)	$2 \times 4 = 8$	35
(語彙・文法)	同意文の書き換え:文法	$2 \times 4 = 8$	
	語順整序:文法	$2 \times 4 = 8$	
			100

^{*「}外国語表現の能力」については、定期テストの他にスピーキングテスト等のパフォーマンス テストの結果も評価材料とする。



Mid-term Exam in English Communication I

1	. You are going to hear a man's comments on the issue of global warming. Listen to the recording and choose the							
	best answer for each of the questions below.							
	1.	Wh	at does the man think about glob	oal warming?				
		1	He thinks it is a very serious pr	oblem.				
		2	He thinks people worry too muc	ch about the p	orob	olem.		
		3	He thinks scientists have differ	ent opinions a	abo	ut the problem.		
		4	He thinks people will find solut	ions to the pr	oble	em soon.		
	2.	Wh	at does the man suggest we do to	o consume les	s er	nergy?		p.15
		1	Use fossil fuels, such as oil, nat	ural gas, and	coa	1.		
		2	Turn off the lights when we're r	not in a room.				
		3	Study more science at school to	learn about t	he e	earth.		
		4	Read books on how global warm	ning is caused	l.			
							<外国語理解	4の能力> 2点×2
2	. Y c	u ai	re going to hear three short sta	tements or q	uest	tions. For each statemer	nt or question,	choose the most
	aŗ	prop	priate response, and mark your	answer on yo	ur a	answer sheet. Each state	ement or quest	tions will be read
	or	lly o	ne time.					
		1.	① Okay. I will.	3.	1	It takes about five minu	ates from here.	
			② Yes, I love it.		2	Take a left at the next t	raffic light.	
			3 Well, I don't know.		3	Let me take you to the	_	
			④ No problem.			I'm going to take a taxi		
								p.14
	:	2.	① Go ahead.					
			② You should take the train.					
			3 Don't mention it.					
			④ I'll call you.					
							<外国語理解	名の能力> 2 点×3
3	. Li	sten	to the recording and complete th	ne underlined	l pa	rt in each sentence. You	will hear each	sentence twice.
	1.		, I don't					
	2.		ink the trip to the old city is					
	3.		ore I got married, I		oun	d the world for business.		p.13
	4.		ne flies when					
	5.	Exc	essive smoking	h	near	t disease.		
							<外国語理解	4の能力> 2点×5

	ther three.						_
1	. ① olive	2 popcorn	3 pineapp	le	4 vanilla	p.1	17
2	2. ① energy	2 percent	3 photogr	apher	4 success		
3	s. ① categorize	② compromise	③ investig	ate	4 occupy		
						<知識・理角	军> 1 /
. F	or each of the following	sentences, select th	ne word which is clo	sest in mea	aning to the u	ınderlined wo	ord.
1	. Perky, my sister Kath	ny's new <u>parakeet,</u> v	was on my finger.				
	① bird	2 cat	3 dog	4 frie	nd		
2	. The <u>enormous</u> sky sw	allowed up my sist	er's blue treasure.				
	① active	② big	3 clear	4 dar	k		
3	. I was so miserable an	ıd <u>upset</u> .				p.	.19
	① hungry	2 poor	3 sleepy	4 unl	nappy		
4	. I got married and had	d children, but I sta	yed in the same <u>ne</u>	ighborhood	<u>l</u> .		
	① area	2 family	3 house	④ nam	ıe		
						<知識・理角	军> 2)
	elect the best word to co			contest.			
	① excite	2 exciting	③ excited	4 to ex	cite		
2.	I spent more than thre	ee hours	video games.				
	① play	2 playing	3 played	④ to pla	ay		
	I found it very	to take care of li	ttle children.			p.	.20
3.	① tire	② tiring	3 tired	4 to ti	re		
3.	My brother is not so	in jazz.					
		2 interesting	③ interested	4 to int	erest		
	① interest	② interesting					

7	. Com	plete th	e second sentence so that it has a similar meaning to the first sente	ence, using the word given.
	1.	Mv sist	er is too young to drink alcohol.	
		-	ter is not	
	2.		t not only a laptop but also a desktop.	
		I bougl	nt a desktop as a laptop.	
	3.	It's a sh	name I can't go with you.	p.21
		I wish	with you.	
	4.	I'm lool	king forward to visiting your school.	
		I can't	visit your school.	
				<知識・理解> 2点×4
8	. Put	the wor	ds or phrases in the correct order to make sentences.	
	1	. A:	What kind of movies do you like?	
		B:	I like movies (endings / happy / have / that).	
	2	. A:	Do you think I should bring a sweater or a jacket?	
		B:	Of course. The higher up we climb, (gets / the / it / colder).	
	3	. A:	Which brand do you recommend?	p.22
		B:	I think Japanese models are (far / best / in / by / the) the world.	
	4	. A:	Thank you (helping / with / me / for) my homework.	
		B:	No worries. Any time.	
				<知識・理解> 2点×4
9	. Read	d the fol	lowing passage, find the four words or phrases that do not fit the	context, and replace them with
	appr	ropriate	alternatives.	p.23
	In Ok	inawa,	I saw some damaged coral reefs. I've learned that coral reefs face m	any dangers.
	Ship	anchors	and careful divers damage coral reefs. However, global warming is	s an even bigger problem. Coral
wi	ll die i	f seawat	er temperatures drop more than a degree or two. In recent years, w	arm waters damaged 16 percent
of	the wo	orld's con	al reefs!	
	Coral	reefs a	re sometimes called the "rainforest of the mountain" because many	y things live there. If coral reefs
ap	peared	d, many	other living things would die too!	
				<外国語理解の能力> 2 点×4

10. Complete the passage by choosing the best word or phrase to fill in each blank.

p.24

Almost all living things have ways of measuring time. A number of plants bloom at only one time of the year.

(1), many kinds of migrating birds know exactly when to begin their journey. There must be ways that they can tell time very precisely.

Some plants and animals seem to be reacting to changes in their environment. (2), in autumn, it gets cooler, and the days become shorter. Plants and animals respond appropriately by sensing changes like these. (3), it is possible to make certain plants bloom at the wrong time of year just by changing the temperature and the amount of light in their environment.

(4), some plants and animals can sense time regardless of environmental changes. In one experiment, migrating birds were cut off from the outside world for years, with temperature and sunlight hours kept the same. Surprisingly, the birds still tried to migrate every autumn. Somehow they managed to keep track of time.

a) At first b) Finally c) For example d) However e) Similarly f) Therefore

<外国語理解の能力> 2点×4

11. The following is part of an activity report by Solar Cooker International (SCI), an organization promoting solar cookers. Read the report and complete the three summary statements (A~C) by filling in each blank with a number.

Free solar energy for cooking can be life changing, especially for the world's poorest three billion people who rely on open fires to cook their food and make their water safe to drink.

There are 12,000 households in the Lower Nyakach region of Kenya. Sixty percent of the inhabitants live in absolute poverty. Approximately 10,000 of those households were too poor to afford the cost of even the simple panel solar cooker as most live on less than \$2 per day.

One of Solar Cookers International's goals is to ensure that these 10,000 vulnerable households in Lower Nyakach have access to solar cooking. From December 10, 2012 through June 30, 2014, Solar Cookers International's community-based partners had successfully distributed 1,266 Safe Water Packages provided by SCI donors. These packages include a solar cooker, improved cookstove, retained-heat container, water pasteurization indicator (WAPI), and safe water storage jars. These partners also provided the follow-up training families needed to get the maximum benefit from these Safe Water Package tools.

In Lower Nyakach alone, from July 1, 2013 through June 30, 2014, Solar Cookers International donors helped:

- -5,784 people to solar cook and drink safe water in the Lower Nyakach area
- -Save up to 434,010 kg of fuel wood, the equivalent of 781 tons of CO2 emissions, or the amount of electricity used in 107 US homes in one year
- -More than 11,413 people learn about solar cooking through community demonstrations by Solar Cookers International partners in Kenya

A. More than () percent of households in the Lower Nyakach region of	f Kenya cannot buy the simple solar
cooker because of poverty.	
B. It took SCI () month to successfully distribute more than 1,000 Safe V	Water Packages in Lower Nyakach.
C. Thanks to solar cookers SCI provided, the people in Lower Nyakach didn'	t have to gather about () tons of
firewood per year.	-
12, 19, 60, 80, 400, 800	
L	I
	<外国語理解の能力> 3 点×3
12. How would you say in each of the following situations? Write your answer	in one English sentence.
1. 答えなどが聞き取れなかったので、もう一度言ってもらいたいとき	
2. ALT の先生の自己紹介を聞いて、名前のつづりを教えてもらいたいとき	p.27
3. ハンドアウトが1枚足りないとき	
4. "discovery"という語の意味が知りたいとき	
	<外国語表現の能力> 2 点×4
13. Read the following passage and write your opinion in five sentences or mo	re.
	p.29
"Mom, Dad, Can I Have a Smartphone?"	ر ا
If you have a school-age child and you haven't heard that question yet, then be	prepared because it's coming. It used
to be that we could wait until our kids were in high school before the issue of a	mobile phone came up but not
anymore. Now, it's not uncommon for11-year-olds or even younger kids to be wa	alking around with a smartphone.
	<外国語表現の能力> 4 点×3

定期テスト問題例と解説

1. ディクテーション

観点: 外国語理解の能力

技能: 聞くこと

下位能力: 話された内容を的確に聞き取る力

指導の具体:

- ・聞き取りにくい音声面の特徴 (th の発音, connected speech, 強弱のリズム, カタカナ英語) にポイントを絞った音読練習を行い、正しく読めるようにする。
- ・頻出するコロケーションを含む英文のディクテーション活動により、単語の固まりを聞いて意味を瞬 時にイメージする訓練をする。

[問題] 次の1~5のそれぞれの英文を聞いて、下線部を書き取りなさい。英文は 2 回ずつ読まれ ます。 Listen to the recording and complete the underlined part in each sentence. You will hear each sentence twice.]

1	 I don't	think	it's a	ı good	idea.

_		
9	Before I got married I	around the world for business
·) .	Defore Egol married. I	around the world for business

1	Time flies when	

5.	Excessive smol	king	heart disease.

「解答]

- 1. To be honest with you
- 2. worth the price
- 3. used to travel
- 4. you're having fun
- 5. can lead to

聞き取りにくいポイントについては、ふだんの授業、定期テスト、文献資料等をもとにデー 留意点: タ化しておく。定期テストに出題することで、授業におけるディクテーション活動、リスニ ング活動への波及効果(テストに出題される内容をより積極的に学習する効果)も期待でき る。意味のわかる範囲であれば、綴りの軽微な誤りは減点しない。



2. 適切な応答の選択

観点: 外国語理解の能力

技能: 聞くこと

下位能力: 話された内容を的確に聞き取る力

指導の具体:

- ・日常的な話題について普段から教師と生徒,生徒同士で話す機会を設け,英語でやりとりをする ことに慣れさせる。
- ・慣用的に用いられる英語表現について、言語の使用場面(situations)と言語の働き(functions) を意識して折に触れて導入する。

[問題] これから3つの短い英語の発言もしくは質問が聞こえてきます。それぞれに対する反応として最も適切なものを選択肢の中から選びなさい。3つの発言もしくは質問は1回しか読まれません。

[You are going to hear three short statements or questions. For each statement or question, choose the most appropriate response, and mark your answer on your answer sheet. Each statement or questions will be read only one time.]

- 1. ① Okay. I will.
 - ② Yes, I love it.
 - 3 Well, I don't know.
 - 4 No problem.
- 2. ① Go ahead.
 - ② You should take the train.
 - 3 Don't mention it.
 - 4 I'll call you.

- 3. 1 It takes about five minutes from here.
 - ② Take a left at the next traffic light.
 - 3 Let me take you to the station then.
 - ④ I'm going to take a taxi now.

[解答]

- 1. (4)
- 2. ①
- 3. ②

[音声スクリプト]

- 1. Thank you so much for your help.
- 2. Can I go to the bathroom now?
- 3. Do you know where the subway station is?



留意点: 英語で社会生活を営む上で多用される表現を出題する。相手のことばを聞いて、とっさに反応できるかどうかを問う。教科書の内容理解中心の授業では、日常生活に使える英語を扱う機会が少なくなりがちだが、折に触れて英語圏の文化、社会生活、日常生活に必要な英語表現を扱うことで、生徒の英語に対する興味を高めることができるかもしれない。

3. 内容にかかわるQ&A

観点: 外国語理解の能力

技能: 聞くこと

下位能力: 話された内容を的確に聞き取る力

指導の具体:

- Oral Introduction, Oral Interaction, テキストの内容に関する Q & A 等を通し, 英語でやりとりを することに慣れさせる。
- ・テキストで扱われるトピックあるいは関連トピックについて英語で意見交換させる。 (※自分で言える内容の英語は、聞き取りがスムーズに出来ると考えられる)

[問題] これから地球温暖化 (global warming) に関する男性のコメントを放送します。放送を聞いて、下のそれぞれの質問に対する最も適切な答えを選びなさい。放送は2回流れます。

[You are going to hear a man's comments on the issue of global warming. Listen to the recording and choose the best answer for each of the questions below.]

- 1. What does the man think about global warming?
 - ① He thinks it is a very serious problem.
 - ② He thinks people worry too much about the problem.
 - ③ He thinks scientists have different opinions about the problem.
 - ④ He thinks people will find solutions to the problem soon.
- 2. What does the man suggest we do to consume less energy?
 - ① Use fossil fuels, such as oil, natural gas, and coal.
 - ② Turn off the lights when we're not in a room.
 - ③ Study more science at school to learn about the earth.
 - ④ Read books on how global warming is caused.

[解答]

- 1. ①
- 2. ②

[音声スクリプト]

I think global warming is a very serious problem. We should think about ways to slow down global warming because most scientists also agree that global warming is a serious problem. There are things we could do on a daily basis. For example, we should try to use less fossil fuels, such as oil, natural gas, and coal, and we should consume less energy by turning the lights off when we're not in a room. There are many more ways to save energy. So we should learn more about them first.

留意点: 30 秒から 1 分程度 (50 語から 120 語程度)の、教科書で扱ったトピックに関する monologue もしくは dialogue とする。Web 上の音声リソースを活用することもできるが、できれば ALT などの協力を得て独自に作成したい。ALT に趣旨を説明し、協力してスクリプトを作成し、デジタル録音する。話し手の意向や話の概要に関する多肢選択問題 (2~3 問) とする。スクリプトは試験後に生徒に配布し、自己表現のモデルとして活用できるようにするとよい。

4. 単語のアクセントに関する知識

観点: 言語や文化についての知識・理解

知識: 語彙

下位知識: 発音・アクセントに関する知識

指導の具体:

・辞書を引く際、発音とアクセントを常にチェックするよう指導する。

・音読,スピーチ,ペアの会話等で、キーワードとなる内容語のアクセントが正しいかどうかに注意させ、相手にわかる発音で話す習慣を身につけさせる。定期的に発音をチェックし、矯正する。

[問題] それぞれの単語のなかで、1つだけ第一アクセント(強勢)の位置が異なる単語を選び番号 を書きなさい。

[For each of the following groups of words, choose the one whose primary stress is placed differently from the other three.]

- 1. (l) olive
- 2 popcorn
- ③ pineapple
- 4 vanilla

- 2. ① energy
- 2 percent
- ③ photographer
- 4 success

- 3. ① categorize
- 2 compromise
- 3 investigate
- 4 occupy

「解答]

- 1. ④ vanilla
- 2. ① energy
- 3. ③ investigate

留意点: ふだんの授業で音読テストや発音テストを行うという前提での出題である。ペーパーテストを行う場合は、どうしても読み方を誤りやすい単語への意識付けや、この種の問題を将来解かねばならない生徒への配慮という観点からであろう。主として内容語(名詞・動詞・形容詞・副詞)のなかから、外来語など聞き取りおよび自己表現活動の際に問題となりがちな語を扱う。解答のためのヒントになる可能性があるので、音節の区切りは示さない。選択肢の単語はアルファベット順に並べるなどの工夫をする。

5. 初見の英文を使った単語の空所補充(記述)

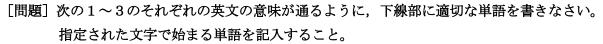
観点: 言語や文化についての知識・理解

知識: 語彙

下位知識: 形式・意味・用法に関する知識

指導の具体:

- ・Oral Interaction, Q & A 等により、ターゲットとなる語彙を文脈のなかで使う機会を与える。
- ・与えられた語彙を活用して英語で発言したり英語を書いたり (1文英作文など) する練習をする。



[Complete the underlined words so that each sentence makes sense. The first few letters are already provided.]

(Example) He is hungry because he didn't have <u>break______</u> this morning.

Ans: breakfast

- 1. I went to the library and I <u>bor_____</u> some books.
- 2. I love pizza, so I <u>pre_____</u> Italian restaurants.
- 3. Judo is a <u>trad</u> Japanese sport.

「解答]

- 1. borrowed
- 2. prefer
- 3. traditional

留意点: スピーキング, ライティングにおいてメッセージの伝達上重要な語 (発表語彙) を出題する。 動詞がターゲットとなっている場合には, 時制・三人称単数現在等に関し答えが一つになる よう工夫する。

6. 教科書英文の特定の語の同意語選択

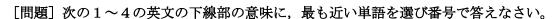
観点: 言語や文化についての知識・理解

知識: 語彙

下位知識: 形式・意味・用法に関する知識

指導の具体:

- ・Oral Interaction, Q&A 等で、言い換えたり、同意表現を板書したりするなどして、同意表現を聞いたり読んだりすることに慣れさせる。
- ・英文の内容を、既に知っている別の表現で言い換える練習をする。



[For each of the following sentences, select the word which is closest in meaning to the underlined word.]

- 1. Perky, my sister Kathy's new <u>parakeet</u>, was on my finger.
 - \bigcirc bird
- 2 cat
- 3 dog
- 4 friend
- 2. The <u>enormous</u> sky swallowed up my sister's blue treasure.
 - ① active
- ② big
- 3 clear
- 4 dark

- 3. I was so miserable and upset.
 - ① hungry
- 2 poor
- ③ sleepy
- 4 unhappy
- 4. I got married and had children, but I stayed in the same neighborhood.
 - (l) area
- 2 family
- (3) house
- (4) name

[解答]

- 1. (1) bird
- 2. ② big
- 3. 4 unhappy
- 4. (1) area

留意点: リスニング,リーディングにおいてメッセージの伝達上重要な語を出題する。英文はテキストと同じか,あるいは別の英文を使う。この種の問題作成では,正解を含め4つの選択肢を考えるのに手間がかかるので,同意語辞典(thesaurus)などを活用し,あらかじめ習得させるべき同意語の一覧を作っておくとよい。

7. 英文中の空所補充

観点: 言語や文化についての知識・理解

知識: 文法

下位知識: 動詞の活用, 準動詞, 時制等に関する知識

指導の具体:

- ・文法構造を導入する際は、生徒にとって身近な例文を提示し、使用場面や機能を理解させる。
- ・折に触れて、テキスト(文章や会話)のなかでの文法の働き(どのような機能を果たしているか等) を説明する。
- ・学習した文法項目の活用を促すよう、身近なトピックでのペアでの会話、自己表現活動、ディスカッション等を行う。

[問題]	次の1〜4のそれそ [Select the best w		_	切な語を選び番号で答えなさい。
1.	I was	to hear that y	you got first priz	e in the contest.
	① excite	2 exciting	3 excited	① to excite
2.	I spent more than	three hours	vide	o games.
	① play	2 playing	<pre>③ played</pre>	① to play
3.	I found it very	to take	e care of little ch	ildren.
	① tire	② tiring	③ tired	4 to tire
4.	My brother is not	so	_ in jazz.	
	① interest	② interesting	③ interested	4 to interest
[解答] 1. 2. 3.	3 excited2 playing2 tiring			
4.	③ interested			

留意点: ターゲットとなる文法形式が使われる可能性の高い英文や、生徒が自己表現活動や日常会話で使えそうな英文をできる限り使用する。異なる文法項目を問うこともできるが、ひとつの大問で指導上重視した文法項目に絞った出題をすれば、その項目についての指導の効果や生徒の学習上の課題を把握することができる。

8. 同意文の空所補充

観点: 言語や文化についての知識・理解

知識: 文法

下位知識: 文構造に関する知識

指導の具体:

- ・英文の内容を別の英文で言い換えたり、やさしい表現で説明したりさせる。
- ・学習した文構造を使い自己表現する機会を設ける。



[問題] 次の $1\sim4$ のそれぞれについて、2番目の英文が1番目の英文とほぼ同じ意味になるように 2番目の英文を完成させなさい。

[Complete the second sentence so that it has a similar meaning to the first sentence, using the word given.]

1.	My sister is too young to drink alcohol.	
	My sister is not	

2. I bought not only a laptop but also a desktop.

I bought a desktop as _____ a laptop.

3. It's a shame I can't go with you.

I wish _____ with you.

4. I'm looking forward to visiting your school.

I can't _____ visit your school.

[解答]

- 1. old enough to drink alcohol
- 2. well as
- 3. I could go
- 4. wait to

留意点: 会話や英作文をするうえで知っていると便利な文構造を精選して出題する。極度にクイズ的 な出題は避け、授業で扱った文構造についての問題を初見の英文を使って出題する。

9. 語順整序

観点: 言語や文化についての知識・理解

知識: 文法

下位知識: 文構造に関する知識

指導の具体:

・日頃から英語でやりとりをしたり、英文を書いたりすることで、英語の SV を中心とする基本構造に 習熟させる。

・学習した文構造を使い自己表現する機会を設ける。

[問題] 次の1~4のそれぞれについて、() 内の語を並べ替えて対話を完成させなさい。

[Put the words or phrases in the correct order to make sentences.]

- 1. A: What kind of movies do you like?
 - B: I like movies (endings / happy / have / that).
- 2. A: Do you think I should bring a sweater or a jacket?
 - B: Of course. The higher up we climb, (gets / the / it / colder).
- 3. A: Which brand do you recommend?
 - B: I think Japanese models are (far / best / in / by / the) the world.
- 4. A: Thank you (helping / with / me / for) my homework.
 - B: No worries. Any time.

[解答]

- 1. that have happy endings
- 2. the colder it gets
- 3. by far the best in
- 4. for helping me with

留意点: 現代の英文でよく使われる,あるいは学習者が間違えやすい文構造を精選して出題する。並べ替える語(句)は、4~5 語(句)程度とし、時間をかけてパズルを解くような問題ではなく、文構造を知っていればすぐに答えられるような問題にする。採点の便宜を考えると選択問題や記号問題(「2番目と4番目に来る語の記号を答えよ」など)になるが、記述式にすることで、記号・番号方式によって誘発されるケアレスミス(正しい英文はわかっているのに記号・番号を記入する際に間違えてしまう)を防ぐことができ、生徒の誤りの傾向を知ることもできる。

10. 論理展開に合わない英文や語(句)の特定

*教科書テキストを利用した読解問題①

観点: 外国語理解の能力

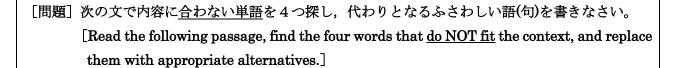
技能: 読むこと

下位能力: 論理展開や出来事の順序を読み取る力

指導の具体:

・グラフィックオーガナイザー等を使って内容理解の再構築をさせる。

・板書されたキーワードを使って口頭で内容を再生させる (オーラルリプロダクション)。



In Okinawa, I saw some damaged coral reefs. I've learned that coral reefs face many dangers. Ship anchors and careful divers damage coral reefs. However, global warming is an even bigger problem. Coral will die if seawater temperatures drop more than a degree or two. In recent years, warm waters damaged 16 percent of the world's coral reefs!

Coral reefs are sometimes called the "rainforest of the mountain" because many things live there. If coral reefs appeared, many other living things would die too!

大修館書店『COMPASS English Communication I 』p. 130(改)

「解答]

(3 行目) careless→careful (4 行目) drop→rise (6 行目) mountain→ocean (7 行目) appeared→disappeared

留意点: 教科書の本文をほぼそのまま使う場合は、再度読む必要性を作らなければならない。暗記していれば文章を読まなくても正答できてしまう問題は避けるべきであろう。誤りとして設定する箇所については、英文のテーマや主旨、論理展開の理解にかかわる部分を選ぶ。

11. ディスコースマーカーや論理展開にかかわるその他の語(句)の空所補充

*教科書テキストを利用した読解問題②

観点: 外国語理解の能力

技能: 読むこと

下位能力: 論理展開や出来事の順序を読み取る力

指導の具体:

・ディスコースマーカーの意味や用法について説明する。

・グラフィックオーガナイザー等を使って論理の展開を確認させる。



[問題] (1)~(4)に入る適当な語(句)を下からそれぞれ1つ選んで、その記号を書きなさい。 [Complete the passage by choosing the best word or phrase to fill in each blank.]

Almost all living things have ways of measuring time. A number of plants bloom at only one time of the year. (1), many kinds of migrating birds know exactly when to begin their journey. There must be ways that they can tell time very precisely.

Some plants and animals seem to be reacting to changes in their environment. (2), in autumn, it gets cooler, and the days become shorter. Plants and animals respond appropriately by sensing changes like these. (3), it is possible to make certain plants bloom at the wrong time of year just by changing the temperature and the amount of light in their environment.

(4), some plants and animals can sense time regardless of environmental changes. In one experiment, migrating birds were cut off from the outside world for years, with temperature and sunlight hours kept the same. Surprisingly, the birds still tried to migrate every autumn. Somehow they managed to keep track of time.

大修館書店『COMPASS English CommunicationⅢ』pp. 14-15(改)

a) At first b) Finally c) For example d) However e) Similarly f) Therefore

「解答] (1)e (2)c (3)f (4)d

留意点: 前問 10 に同じく、教科書テキストをそのまま使い、空所を設けた問題であり、丸暗記していれば正答できてしまう可能性もあるが、論理展開の理解ということにテスティングポイントを絞っている。

12. 内容にかかわる **Q&A**

*教科書テキストを書き直した文章や関連した文章を使った読解問題

観点: 外国語理解の能力

技能: 読むこと

下位能力: まとまった英文の重要な情報を読み取る力

指導の具体:

・内容の詳細情報に関する(英語による)質問に(口頭または筆記で)答えさせる。

表などに情報を整理させる。



[問題] (Solar cooking に関する教科書本文を学習して) 次の文は Solar cooker の普及団体 Solar Cooker International (SCI) の活動報告の一部です。英文の内容に合うように、A~C の ()に入る数字をそれぞれ下から選んで書きなさい。

[The following is part of an activity report by Solar Cooker International (SCI), an organization promoting solar cookers. Read the report and complete the three summary statements (A~C) by filling in each blank with a number.]

Free solar energy for cooking can be life changing, especially for the world's poorest three billion people who rely on open fires to cook their food and make their water safe to drink.

There are 12,000 households in the Lower Nyakach region of Kenya. Sixty percent of the inhabitants live in absolute poverty. Approximately 10,000 of those households were too poor to afford the cost of even the simple panel solar cooker as most live on less than \$2 per day.

One of Solar Cookers International's goals is to ensure that these 10,000 vulnerable households in Lower Nyakach have access to solar cooking. From December 10, 2012 through June 30, 2014, Solar Cookers International's community-based partners had successfully distributed 1,266 Safe Water Packages provided by SCI donors. These packages include a solar cooker, improved cookstove, retained-heat container, water pasteurization indicator (WAPI), and safe water storage jars. These partners also provided the follow-up training families needed to get the maximum benefit from these Safe Water Package tools.

In Lower Nyakach alone, from July 1, 2013 through June 30, 2014, Solar Cookers International donors helped:

- -5,784 people to solar cook and drink safe water in the Lower Nyakach area
- -Save up to 434,010 kg of fuel wood, the equivalent of 781 tons of CO2 emissions, or the amount of electricity used in 107 US homes in one year
- -More than 11,413 people learn about solar cooking through community demonstrations by Solar Cookers International partners in Kenya

Solar Cookers International http://www.solarcookers.org/report/ann/ (改)

- A. About () percent of households in the Lower Nyakach region of Kenya cannot buy the simple solar cooker because of poverty.
- B. It took SCI about () months to successfully distribute more than 1,000 Safe Water Packages in Lower Nyakach.
- C. Thanks to solar cookers SCI provided, the people in Lower Nyakach didn't have to gather about () tons of firewood per year.

[解答] A. 80 B. 19 C. 400

留意点: 教科書トピックに関連した文章で作問する場合は、教科書で学習した語彙・文法、内容がスキーマとして使えるような英文を用いるようにする。ただ、文中の数字を答えればよいのではなく、計算する、単位を変えて換算するなどの負荷を設けている。書き直したテキストを用いる場合は、論理の流れを読み取らせることを目的にして、機械的または恣意的に設けた空所を補充させる cloze test も作ることができる。

13. 1 文英作文

*言語の働きを重視した英作文

観点: 外国語表現の能力

技能: 書くこと

下位能力: 目的に合った適切な表現を活用して英文を書く力

指導の具体:

・授業中、「質問をする」「聞き返しをする」「要求を伝える」などの場面で、英語を使ったやり取りを 日常的に行う。

[問題] 次のような場合, 英語でどのように言えばよいですか。それぞれ1文で書きなさい。 [How would you say in each of the following situations? Write your answer in one English sentence.]

- 1. 答えなどが聞き取れなかったので、もう一度言ってもらいたいとき
- 2. ALT の先生の自己紹介を聞いて、名前のつづりを教えてもらいたいとき
- 3. ハンドアウトが1枚足りないとき
- 4. "discovery"という語の意味が知りたいとき

「解答]

- 1. Could you say that again, please?
- 2. How do you spell your name?
- 3. Excuse me, we need one more handout.
- 4. What does "discovery" mean?

「授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする」 留意点: (高等学校学習指導要領第2章第8節第3款-4)の具現化のひとつとして、教室英語の実 践が考えられるが、教師からの指示だけでなく、生徒からの発信でも積極的に英語を使うよ うにすることでコミュニケーションが成り立っていることを実感させたい。このように定期 テストに教室英語のさまざまな表現を出題すれば、波及効果として定着が期待できる。

27

14. 複数文自由英作文

*授業中または家庭学習で書かせたものを再生させる場合

観点: 外国語表現の能力

技能: 書くこと

下位能力: 目的に合った適切な表現を活用して英文を書く力

指導の具体:

・読んだり聞いたりしたことに関連して,汎用性の高い(将来役に立ちそうな)ライティングタスクを 授業中に実施したり,家庭学習課題として取り組ませたりする(複数回)。

[問題] あなたの趣味の1つについて3文以上の英語で書きなさい。

[Write about one of your hobbies in English. Write three sentences or more.]

[評価ルーブリック]

点数	文の数	文のまとまり	正確さ
	主語+動詞のある英	複数文の順序が自然	複数文のうち, 動詞の
4	文が4文以上書けてい	で、文のつながりに工	形, 文構造などの誤り
	る。	夫が見られる。	がない。
	主語+動詞のある英	複数文の順序が自然	複数文のうち, 動詞の
3	文が3文書けている。	である。	形, 文構造などの誤り
			が1つある。
	主語+動詞のある英	複数文の順序がやや	複数文のうち, 動詞の
2	文が2文書けている。	不自然である。	形, 文構造などの誤り
			が2つ以上ある。

*1 文しか書いていない場合は 0 点になる。

留意点: 指導済みのものを暗記してくるだけにならないように、授業でやるものについては文の数を 指定しておき、テストの際に1文書き加えさせてもよい(予告あり/なし)。文法や語彙の 知識については、それぞれの大問で測定しているので、採点に際しては、誤りを減点するの ではなく、上のようなルーブリックでライティング能力を多角的に評価するのがよい。特に この場合の「文の数」の項目などは、課題の完成および積極的な英語使用について、「コミ ュニケーションへの関心・意欲・態度」の評価対象とすることもできるだろう。

15. 1パラグラフ自由英作文

*初見の短い英文を読んで意見を書く

観点: 外国語表現の能力

技能: 書くこと

下位能力: 論理展開が明確な英文を書く力

指導の具体:

・Mapping などによる idea generation のしかた、パラグラフの構造などについて説明する。

・読んだり聞いたりしたことについて、感想や意見などを書かせる(複数回)。

[問題例] 次の英文を読んで、あなたの意見を5文以上の英文で書きなさい。

[Read the following passage and write your opinion in five sentences or more.]

"Mom, Dad, Can I Have a Smartphone?"

If you have a school-age child and you haven't heard that question yet, then be prepared because it's coming. It used to be that we could wait until our kids were in high school before the issue of a mobile phone came up but not anymore. Now, it's not uncommon for 11-year-olds or even younger kids to be walking around with a smartphone.

「評価ルーブリック]

点数	内容	文のまとまり	正確さ				
	英文の主旨に合った,	主題文, 支持文, 結論	時制、語順など伝達に				
4	建設的な意見を書い	文の構造があり、結論	支障をきたすような誤				
	ている。	文に工夫が見られる。	りがない。				
	英文の主旨に合った	主題文, 支持文, 結論	時制,語順など伝達に				
3	内容が書けている。	文の構造が確立して	支障をきたす誤りが 1				
		いる。	つにとどまる。				
	英文の主旨とやや外	主題文, 支持文, 結論	時制,語順など伝達に				
2	れた内容が含まれて	文の構造が見られな	支障をきたす誤りが 2				
	いる。	V'o	つ以上ある				

留意点: 前問と同じく,文法や語彙の知識については,それぞれの大問で測定しているので,採点に際しては,誤りを減点するのではなく,上のようなルーブリックでライティング能力を多角的に評価するのがよい。前問のようにほぼ暗記していることを再生するものではないので,「正確さ」については、比較的やや寛容に見ている。

Sample Answer Sheet

1	1.	1	2	3	4		2.	1	2	3	4														/4	^{4}L
2	1.	1	2	3	4		2.	1	2	3	4		3.	1	2	3	4								/6	$_{ m SL}$
3	1.																									
	3.	Ве	efor	eΙg	got m	arrie	ed, I											a	rou	und	the	e wo	orld.			
	4.																							·		
	5.	E	ces	SIV	e smo	oking												ne	art	ais	seas	se.			/1.0	٦T
4	1	<u>(1)</u>	<u></u>	3	(1)		9	1)	<u></u>	<u></u>	<u> </u>		9	<u>(1)</u>	<u></u>	3	(1)								/10)L 3V
					4			1								3			1	<u>(1)</u>	(2)	3	<u> </u>			3V
				3				1					3.	1		3						3				3 V 3G
7	1.	•			<u> </u>			<u> </u>		•	<u> </u>		0.	Ū.		•	•			•		•	•		70	, G
·																					_,					
												h you.														
	4.	Ιo	an'	t							_visi	t your	sch	ool.											/8	3G
8	1.	Ιl	ike	mo	vies _															_,						
	2.	Tł	ne h	igh	er up	we c	elimb),																		
	3.																		he	WO1	rld.					
	4.	Tł	nan]	k yo	ou									_ n	ıy h	om	ewoi	·k.							/8	3G
	1																									

9	Wo	rds that do no (文脈に合 ——		xt	\Rightarrow	_		te Alternativ 切な語)	es		
					$\Rightarrow \\ \Rightarrow \\ \Rightarrow \\$	-					
1 0	1. ()	2. ()	3. ()	4. ()			/8R /8R
1 1	A. ()	В. ()	C. ()				/9R
1 2	1.										
	2.										
	3.										
1.0	4.										/8W
1 3											
					(文の数) + (まと)+(まり 正確) = Éさ	=	/12W
Class		No	Name:								/100

- Bachman, L. F. (1990). Fundamental considerations in language testing. Oxford: Oxford University Press.
- Bachman, L. F., & Palmer, A. (1996). Language testing in practice: Designing and developing useful language tests. New York: Oxford University Press.
- Bachman, L. F., & Palmer, A. (2010). Language assessment in practice: Developing language assessments and justifying their use in the real world. Oxford University Press.
- Brown, H. D., & Abeywickrama, P. (2010). Language assessment: Principles and classroom practices (2nd ed.). White Plains, NY: Pearson Education.
- Brown, J.D. (2005). Testing in language programs: A comprehensive guide to English language assessment (New edition). New York: McGraw-Hill.
- Hughes, A. (1989). Testing for language teachers. Cambridge: Cambridge University Press.
- Laufer, B., & Nation, P. (1999). A vocabulary-size test of controlled productive ability. *Language Testing*, 16(1), 33-51.
- 卯城祐司(編著)(2012)『英語リーディングテストの考え方と作り方』東京:研究社.
- 国立教育政策研究所 (2002)「評価規準の作成,評価方法の工夫改善のための参考資料(中学校外国語)」 http://www.nier.go.jp/kaihatsu/houkoku/index_jh.htm
- 国立教育政策研究所 (2004) 「評価規準の作成,評価方法の工夫改善のための参考資料(高等学校外国語)」 http://www.nier.go.jp/kaihatsu/kou-sankousiryou/html/index_h.htm
- 国立教育政策研究所 (2012) 「評価規準の作成,評価方法等の工夫改善のための参考資料〜新しい学習 指導要領を踏まえた生徒一人一人の学習の確実な定着に向けて〜(高等学校外国語)」 http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/kou/11_kou_gaikokugo.pdf
- 静 哲人 (2002) 『英語テスト作成の達人マニュアル』 東京:大修館書店.
- 根岸雅史 (2011) 「技能統合の評価をどうするか」 『英語教育』 Vol. 60, No. 2, pp. 29-31. 東京: 大修館書店
- 根岸雅史・東京都中学校英語教育研究会(編著) (2007)『コミュニカティブ・テスティングへの挑戦』東京:三省堂
- 松沢伸也(著)・佐野正之・米山朝二(監修) (2002) 『英語教師のための新しい評価法』東京: 大修館書店 村越亮治・江原美明 (2015) 「高校現場における『英語テスト』と『観点別評価』の課題」『神奈川県立 国際言語文化アカデミア 紀要』第4号, pp.1-18. 神奈川県立国際言語文化アカデミア
- 文部科学省 (2000)「児童生徒の学習と教育課程の実施状況の評価の在り方について(答申)」 http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/t20001204001/t20001204001.html
- 文部科学省(2010a)「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」
- http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/1292163.htm
- 文部科学省 (2010b) 『高等学校学習指導要領解説外国語編·英語編』東京: 開隆堂出版
- 文部科学省 (2013) 各中・高等学校の外国語教育における『CAN-DO リスト』の形での学習到達目標 設定のための手引き」http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm
- 若林俊輔・根岸雅史(1993)『無責任なテストが落ちこぼれを作る』東京:大修館書店

高等学校英語教員のための定期テスト作成簡易マニュアル

発行日 平成27年7月15日

著 者 神奈川県立国際言語文化アカデミア 江原 美明 村越 亮治 イラストレーション: Asako Yanagida

発行者 神奈川県立国際言語文化アカデミア 横浜市栄区小菅ケ谷 1 丁目 2-1 Ta 045(896)1091

http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f440038/